

法人（事業所）理念		私たちは、関わる全ての人を幸せにするため、利他の心で行動し、世界福祉への貢献を追求していきます。								
支援方針		障がいのある子どもたちが音楽療育・言語療育を通じて、人を信頼し、人との繋がりを感じ、人を愛せる心を育み、社会の中で自立して生きていける力を養います。								
営業時間		9 時	30 分	から	19 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<心身の健康を育て、正しい生活リズムや基本的生活を身につけられるよう支援します> ・衛生習慣の定着に向けて、ルーティンの中で声掛け、掲示物で意識づけを行ないます 入室時の検温や手洗い等を通じて、自ら健康を維持し安全な生活を作り出そうとする意識を育てます。また、ご家庭と連携しながら睡眠・食事・排泄等の基本的生活リズムの定着を図るとともに、障がい特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化することで、生活の中で様々な取り組みを通して生活スキルを学べるようサポートします。 ・毎日お子様それぞれの時間割を作成し、見通しを持った取り組みと気持ちや行動の切り替えを促します おとつむぎの柱である「音楽療育」「言語療育」「学習療育」を中心に、お子様の特性や課題に合わせた活動プログラムを組み、時間割を作成しています。お子様は、おとつむぎ到着後はまず「自分の時間割」を確認し、当日の活動への見通しを立てることからスタートします。一つの活動は30分。チャイムに合わせて切り替えながら「自分のやりたいこと、楽しいこと」だけではなく、「決まった活動に一定時間向き合う」練習も行ないます。								
	運動・感覚	<体の動かし方や、視覚・聴覚などの感覚の使い方を身につけられるよう支援します> ・学習を含むルーティンワークの中で、正しい着座姿勢や筆記用具をはじめとする道具の使い方を学びます 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や指先への上手な力の伝え方、道具の適切な取り扱いを身につけられるようサポートしていきます。 ・専門職員によるリトミックや音楽療法士による「音楽療育」でボディイメージを確立していきます 音楽やリズムに合わせて楽しく身体を動かすことで上肢・下肢の運動や動作の改善、習得を目指します。また、「見て・聞いて真似る」「見て・聞いて合わせて動く」といった視聴覚と身体運動の協調を図ります。 ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるプログラムを設定します ビジョントレーニングや音楽療育、ジェルポリマーを利用したセンサリープレイや粘土遊び等、感覚を刺激し育んでいきます。								
	認知・行動	<見る・聞く・覚える・言葉を理解する・物を認識するなど、知的な機能の発達を支援します> ・音楽療法士による「音楽療育セッション」 音楽活動によって情緒の安定を図ることはもちろん、音楽療法士の指示や出す「音」を「よく見る・よく聞く」ことで環境から取得した情報を適切に処理し、「覚える・模倣する・合わせて動く」といった行動に繋げるという一連の認知過程の発達をサポートしていきます。また、リズムや音の変化による「大小」「強弱」「数」といった概念形成にもアプローチします。 ・日々の学習やルーティンワークの中で、「認知する」ためのペースを培います プリント教材や目的に合わせた教具を使用し、数量、形の大きさ・重さ、色の違い等の習得を目指します。また、物の機能や属性・形・色・音が変化する様子、空間・時間の概念の形成を図ります。 ・ソーシャルスキルトレーニングやグループ活動で、情報の取捨選択から行動に繋げる一連の認知過程の発達を後押しします 認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できる力を養えるよう課題設定していきます。また、感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防と適切行動の学びをサポートします。								
	言語コミュニケーション	<言葉や文字、ジェスチャーなど、様々な方法を活用して、コミュニケーションが取れるよう支援します> ・言語聴覚士による「言語療育個別セッション」 専門的なトレーニングにより自発的な発声・発語・発話を促すことはもちろん、指さし・身振り・サインや言葉、文字・記号等を用いて、環境や相手の意図を理解したり、自分の考えや気持ちを表出・伝達する力が身に付くようサポートしていきます。 ・多彩なプリント教材や楽しく取り組める教具で、障がい特性に応じた読み書きの能力の向上を目指します お子様の年齢に応じて、文字や数字の習得のためのプリント教材を使用しています。また、文字をコミュニケーションツールとして活用できるよう「かるた」や「言葉カード」等様々な教材・教具を用いて定着を図っていきます。 ・オリジナルプログラム「おとのこえ」 言語聴覚士と音楽療法士が合同で立ち上げたおとつむぎオリジナルの専門プログラムです。音楽をツールに、「聞く力」「声に出す力」「コミュニケーションを取る力」の底上げを図ります。言語療育は完全個別制ですが、「おとのこえ」はお子様の状況に合わせてコミュニケーション面で実践的に活動できるようグループセッションにも対応しています。								
	人間関係社会性	<人や集団とどのように関わり、信頼関係を築いていくのかを学んでいけるよう支援します> ・お子様の状況に合わせたご利用時間を提案します 刺激に敏感なお子様は、1～2名のごく少人数の時間帯からのご利用をご案内しております。まずは職員との関係を意識し、活動を通して信頼関係を築きながら社会性や対応関係の芽生えをサポートします。お子様の状況に合わせてご利用曜日や時間帯を調整し、プログラムの中で「人」への興味が希薄な一人遊びの状態から、並行遊び、職員が介入して行う連合遊び、役割分担をしたリルールを守って遊ぶ協同遊びに発展させ、社会性の発達を後押ししていきます。 ・ソーシャルスキルトレーニングにより、自己理解や他者理解・環境理解を深めます お子様の年齢や理解度に応じた課題設定により、自分のできること・できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、他者の気持ちや考えにも目を向けそれを理解しようとする姿勢や自分の置かれている環境・状況を理解し、気持ちや情動の調整ができるようになることを目指します。 ・グループ活動をはじめとする小集団での取り組みの中で、集団参加への意欲を培います 集団に参加するための「お約束」をお子様にわかりやすく提示し、手順やルールを理解できるよう設定します。「待つ」「我慢する」といった非認知能力の底上げも図りながら、お約束の中で最後まで楽しく集団に参加できた成功体験を重ねることで、周囲と関わり集団参加していくことへの意欲を培っていきます。								
家族支援		<ご家族が安定した気持ちでお子様と向きあえるよう支援します> ・定期的な面談だけでなく、必要に応じて相談援助を行います 個別支援計画にまつわる面談はもちろん、必要に応じて児童発達支援管理責任者・言語聴覚士との相談支援の機会を設定し、お子様の発達状況や支援ニーズの確認を行なっていきます。 ・おとつむぎ療育アドバイザーとの相談会を実施します 弊所療育アドバイザーである臨床心理士や小児科医による個別相談会を行ない、子育ての悩みや家庭内の養育について相談の機会を設けることで、ご家族の子育てに対する困難度の軽減を目指すと同時に、ご家族が課題解決への意欲を持ち続けられるようサポートしていきます。			移行支援		<お子様が地域と繋がりながら日常生活を送れるよう支援します> ・可能な限り地域の保育・教育を受けられるようサポートしながら、同年代の子どもたちとの関係づくりを図ります。 障害の有無に関わらず全ての子どもたちが共に成長できるよう、小中学校との連携を図り、お子様の状態やご家族の意向、支援方法等伝達しながら体制づくりを行なっていきます。 ・ライフステージの切り替えを見据えた支援を行います 入学等のお子様のライフステージの切り替えを見据え、移行準備を進められるよう課題設定していきます。また、支援の連続性を確保できるよう移行先との情報連携等行なっていきます。			
地域支援・地域連携		<お子様に関わる地域の関係者・関係機関と連携して支援します> 小中学校、医療機関等と連携し、お子様のライフステージに応じた切れ目のない支援を行っていきます。支援方法や環境に関して見学や会議を行ない情報共有することで、お子様が地域に根ざし地域の中で必要なサポートを受けながら自立に向けて成長できる土台づくりを目指します。			職員の質の向上		<職員のスキル向上と、チームによる質の高い療育を目指します> 子どもたちの障がいや生活の背景を理解し、個々に応じた適切な支援ができるよう、研修等のスキルアップの機会を設定し、職員の質の向上を図ります。また、日常的にPDCAサイクルを実行していけるよう職員間での意見交換や打ち合わせを行い、専門職を含めたチーム体制で支援していきます。			
主な行事等		<年中行事に合わせたイベントや創作アート活動により、お子様の感性を育みます> クリスマスやハロウィン等のパーティー、その他季節の行事に合わせて制作活動を行なっています。また、年に1～2回おとつむぎ職員による親子鑑賞が可能な音楽コンサートを開催しています。季節の変化を体感し文化に触れ、楽しい思い出を残すことで、お子様の豊かな感性や情緒を育みます。								